



©2005 石塚真一/小学館

<令和6年(2024年) 9月19日>

信州の山岳遭難現場と全国の登山者をつなぐ 特別隊員 島崎 三步 の「山岳通信」

長野県の山岳地域で発生した遭難事例をお伝えし、「安全登山」のための情報を提供しています。(詳細は以下のとおり)

■ 令和6年度 信州山岳アカデミー (オンライン開催・参加費無料) 参加者募集!

9月27日(金)18:30~ 2時間程度

- ▼「秋山登山の注意点」 三井 康志 氏 (長野県警察山岳遭難救助隊)
- ▼「穂高連峰と上高地誕生の謎」 原山 智 氏 (信州大学名誉教授)
- ▼「火山への登山の備え」 土井 恵治氏 (長野県火山対策総合アドバイザー)

参加ご希望の方は左記の2次元コードよりお申し込みください。



定 員 : 500 名

申込期限: 9月20日(金) 正午

9月25日(水)正午まで延長します!

* 定員になり次第、募集を締め切ります。

■ 令和6年度 “秋山情報” を作成しました。# 合言葉は無事下山

鮮やかな紅葉に包まれる秋山は、多くの登山者を魅了し、毎年、紅葉シーズンを中心に県内外から多くの登山者が信州の山々に訪れるほか、きのこ採りなど「山の幸」を求めて入山する人も数多く見られます。一方で、この時期、滑落や道迷い、低体温症、準備不足による行動不能などの山岳遭難が多発しています。秋山は周期的な晴天に恵まれやすく、気候的にも登山に適していますが、日没時刻が早く、天候もひとたび崩れると真冬並みの寒さになるなど、秋山特有のリスクがあります。“秋山情報”では、過去の遭難事例や秋山登山における注意点などを紹介します。安易な気持ちで登山することなく、最新情報の収集と事前準備を入念に行い、体調を万全にして入山しましょう!

<https://www.pref.nagano.lg.jp/police/sangaku/index.html> 長野県警察 登山 Safety Book

【遭難者の救助活動】

【寄付応募サイト】

信州の安全登山の
推進に御支援を!

★ふるさと納税 受付中★

~信州の山小屋応援・山岳遭難防止対策プロジェクト~



■ 令和6年(2024年)中の山岳遭難発生状況

令和6年(2024年)1月1日～9月16日

区分	発生件数	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計	内)死傷者
令和6年	248	37	1	115	118	271	153
内)単独登山	86	16	1	33	36	86	50
令和5年	218	27	3	119	93	242	13
内)単独登山	78	12	0	37	29	78	49
前年同期比	+30	+10	-2	-4	+25	+29	+4
内)単独登山	+8	+4	+1	-4	+7	+8	+1

■ 発生状況

日付	場所	性別	年齢	死傷別	態様	概要
9/10 火	北アルプス 北穂高岳	男	65	負傷	滑落	単独で北穂高岳から涸沢岳へ向け縦走中、バランスを崩して、滑落、負傷
9/11 水	北アルプス 白馬乗鞍岳	女	67	負傷	転倒	2人パーティで天狗原付近を下山中、足を捻って、負傷
9/12 木	北アルプス 燕岳	男	68	負傷	転倒	5人パーティで合戦尾根を下山中、転倒、負傷
9/12 木	北アルプス 槍ヶ岳	男	73	死亡	滑落	2人パーティで東鎌尾根を登山中、滑落
9/12 木	北アルプス 槍ヶ岳	男	39	無事救出	その他	上記遭難者の同行者。技量不足により、行動不能
9/12 木	北アルプス 燕岳	男	77	無事救出	疲労	2人パーティで合戦尾根を下山中、疲労により、行動不能
9/13 金	北アルプス 槍ヶ岳	女	61	無事救出	疲労	2人パーティで槍ヶ岳から横尾方面に向けて下山中、疲労により、行動不能
9/13 金	黒姫山	女	45	無事救出	道迷い	単独で黒姫山から越見尾根を下山中、道に迷い、行動不能
9/13 金	北アルプス 北穂高岳	男	61	負傷	その他	単独で南岳から北穂高岳に向けて縦走中、足を負傷して、行動不能
9/14 土	木曽郡木曽町 開田高原地籍 山林内	男	79	負傷	滑落	単独できのこ採り中、滑落、負傷
9/14 土	北アルプス 蝶ヶ岳	男	59	負傷	転倒	2人パーティで蝶ヶ岳から三股に向けて下山中、第二ベンチ付近で転倒、負傷

9/14 土	北アルプス 燕岳	女	75	無事救出	その他	20人パーティで合戦尾根を下 山中、滑落、技量不足により行 動不能
9/15 日	北アルプス 蝶ヶ岳	男	7	負傷	転倒	3人パーティで蝶ヶ岳から三股 に向けて下山中、第二ベンチ付 近で転倒、負傷

■長野県警 山岳安全対策課からのワンポイントアドバイス！

先週(9月9日～9月15日)、長野県内では、13件の山岳遭難が発生しました。うち11件は北アルプスでの発生でした。

9月15日に蝶ヶ岳で発生した山岳遭難は、7歳の男児が転倒し、頭部や足を負傷したものです。このシーズンに限らず、お子さん連れの登山はパトロール中によく見かけますが、▽岩場等のある登山道でヘルメットを被っていない、▽お子さんと保護者が極端に離れてしまっている、という状況を多く見かけます。(今回の蝶ヶ岳の現場ではヘルメット非装着でした)

お子さんを山に連れて行く保護者の皆さんは、「楽しい思い出を」と考えているかも知れませんが、怪我等をしてしまえばその思い出も悲しいものになってしまいます。

保護者の皆さんは、

- ▽登山の知識を学ぶ(山域、摂取すべき水分量や栄養、高山病の特徴等)、
- ▽登山前、登山中の体調をよく確認(高山病の症状が見られたら即下山)、
- ▽エネルギー、水分補給の管理(登山前日、直前、行動中など)、
- ▽ヘルメットや手袋等で怪我の予防(ヘルメット着用推奨山域でなくても必要です)、
- ▽応急処置の装備を必ず携行(お子さんに限らず、セルフレスキューのキホンです)、等をしっかりと実践していただき、無理のない日程で、秋山登山を楽しみましょう。

■山域別発生状況 令和6年(2024年)1月1日～9月16日

区分	件数	件数 比率	死者	行方 不明	負傷者	無事救出	遭難者 計	
北アルプス	槍穂高	49	19.8%	9	1	24	21	55
	後立山	52	21.0%	9	0	22	28	59
	その他	29	11.7%	3	0	12	18	33
	計	130	52.4%	21	1	58	67	147
中央アルプス	20	8.1%	3	0	9	10	22	
南アルプス	3	1.2%	0	0	3	0	3	
八ヶ岳連峰	43	17.3%	5	0	22	17	44	
その他の山岳	52	21.0%	8	0	23	24	55	
計	248		37	1	115	118	271	

■態様別発生状況 令和6年(2024年)1月1日～9月16日

区分	件数	件数比率	死者	行方不明	負傷者	無事救出	遭難者計
転・滑落	72	29.0%	21	0	53	0	74
転倒	54	21.8%	0	0	54	0	54
病気	11	4.4%	5	0	0	6	11
道迷い	32	12.9%	0	0	0	38	38
落石	3	1.2%	0	0	4	0	4
雪崩	5	2.0%	2	0	2	3	7
落雷	0	0.0%	0	0	0	0	0
疲労凍死傷	41	16.5%	3	0	0	41	44
不明・他	30	12.1%	6	1	2	30	39
計	248		37	1	115	118	271

■男女別・年齢別比率 令和6年(2024年)1月1日～9月16日

区分	男性					(人)	女					(人)	男女計				
	死者	不明	負傷	無事	計		比率	死者	不明	負傷	無事		計	比率	人数	比率	
19歳以下	0	0	2	3	5	40	0	0	1	1	2	9	7	49			
20代	2	0	6	9	17		20.8%	1	0	1	3		5		11.4%	22	18.1%
30代	5	0	3	10	18			0	0	1	1		2			20	
40代	5	0	8	8	21	74	0	0	4	6	10	34	31	108			
50代	8	0	24	21	53	38.5%	2	0	14	8	24	43.0%	77	39.9%			
60代	6	1	20	14	41	78	0	0	14	6	18	36	61	114			
70以上	8	0	9	20	37	40.6%	0	0	8	8	16	45.6%	53	42.1%			
計	34	1	72	85	192		3	0	43	33	79		271				
比率	70.8%						29.2%										

内容は長野県警察本部の発表時点のものです。

* 本通信に関するご質問・ご意見は「長野県観光スポーツ部山岳高原観光課」までお寄せください。
mt-tourism@pref.nagano.lg.jp

＝発行：長野県山岳遭難防止対策協会2